

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和6年度】

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 203-0031

所在地 東京都東久留米市南町1-13-38

評価機関名 株式会社ふくし・ファーム

認証評価機関番号 機構 04 - 134
電話番号 03-3332-3334
代表者氏名 加藤 正樹

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名			担当分野	修了者番号
	①	加藤 正樹		福祉	H0601051
	②	中野 航太		経営	H2001058
	③	伊瀬 卓		福祉	H1801008
	④	大串 哲人		福祉	H2101022
	⑤				
	⑥				
福祉サービス種別	認可保育所				
評価対象事業所名称	しおどめ保育園京急蒲田駅前				
事業所連絡先	〒	144-0035			
	所在地	東京都大田区南蒲田1-1-17			
	TEL	03-6892-3030			
事業所代表者氏名	近藤 知佳				
契約日	2024 年 5 月 22 日				
利用者調査票配付日(実施日)	2024 年 12 月 2 日				
利用者調査結果報告日	2025 年 1 月 13 日				
自己評価の調査票配付日	2024 年 7 月 18 日				
自己評価結果報告日	2025 年 1 月 13 日				
訪問調査日	2025 年 1 月 17 日				
評価合議日	2025 年 2 月 7 日				
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	事前説明には、評価の理解を深めていただくため、評価の全体像や具体例を用いた分かりやすい資料を作成し、ていねいに説明を行いました。事業評価においては、自己評価の事実確認に徹し、第三者性の担保に配慮しました。また、利用者調査および事業評価の集計結果は、独自開発による集計シートを用い、グラフ・表により分かりやすく報告しました。				

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

印

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定） 【法人の運営理念】 豊かな心と感性を育てる 【法人の運営方針】 ・子ども自身で考え、遊び方を選択することができる主体性を軸とする ・子どもの主体性を育てる保育 ・子ども1人ひとりを見守り、子どもに合った保育 ・自発的な遊びの中で子どもの力を引き出す保育 ・遊びと合う保育教育の実現
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割 ・責任をもって最後まで物事に取り組める人 ・子どもたちのため、法人、園のために何が出来るか考えられる人 ・自分も他人も大切にできる人
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感） 楽しみながら保育(仕事)をすることで、向上心をもって日々成長しようという思いを持续ける

調査対象

調査対象は、在園児の保護者全員を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答のご回答をいただきました。
[調査対象世帯数:16世帯(在園児16名)]

調査方法

園より保護者全員に調査票を配布して頂きました。回収については、評価機関への郵送、または園内に設置した回収箱への投函により提出して頂くようにしました。

利用者総数

16

利用者家族総数(世帯)

16

共通評価項目による調査対象者数

16

共通評価項目による調査の有効回答者数

12

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

75.0

利用者調査全体のコメント

「現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか」との質問に対して、「大変満足」75%、「満足」25%、「大変満足」と「満足」を合わせて100%の回答率となっています。「どちらともいえない」0%、「不満」0%、「大変不満」0%、無回答が0%でした。個別設問では、問1「活動や教育等のプログラムは心身の発達に役立っているか」をはじめ、問2・3・6について「はい」の回答率が100%と高く、問12「子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか」では「はい」の回答率が66.7%と最も低くなっています。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	12	0	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の100%を占め、「どちらともいえない」が0%、「いいえ」が0%、「無回答＋非該当」は0%という結果でした。自由記述では、特筆すべき意見はありませんでした。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	12	0	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の100%を占め、「どちらともいえない」が0%、「いいえ」が0%、「無回答＋非該当」は0%という結果でした。自由記述では、特筆すべき意見はありませんでした。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	12	0	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の100%を占め、「どちらともいえない」が0%、「いいえ」が0%、「無回答＋非該当」は0%という結果でした。自由記述では、特筆すべき意見はありませんでした。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	11	1	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の91.7%を占め、「どちらともいえない」が8.3%、「いいえ」が0%、「無回答＋非該当」は0%という結果でした。自由記述では、特筆すべき意見はありませんでした。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	9	2	0	1
この項目では、「はい」と答えた方が全体の75%を占め、「どちらともいえない」が16.7%、「いいえ」が0%、「無回答＋非該当」は8.3%という結果でした。自由記述欄に寄せられた意見はありませんでした。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	12	0	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の100%を占め、「どちらともいえない」が0%、「いいえ」が0%、「無回答＋非該当」は0%という結果でした。自由記述欄に寄せられた意見はありませんでした。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	10	2	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の83.3%を占め、「どちらともいえない」が16.7%、「いいえ」が0%、「無回答＋非該当」は0%という結果でした。自由記述では、特筆すべき意見はありませんでした。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	11	1	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の91.7%を占め、「どちらともいえない」が8.3%、「いいえ」が0%、「無回答＋非該当」は0%という結果でした。自由記述では、特筆すべき意見はありませんでした。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	10	1	0	1
この項目では、「はい」と答えた方が全体の83.3%を占め、「どちらともいえない」が8.3%、「いいえ」が0%、「無回答＋非該当」は8.3%という結果でした。自由記述欄に寄せられた意見はありませんでした。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	11	0	1	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の91.7%を占め、「どちらともいえない」が0%、「いいえ」が8.3%、「無回答＋非該当」は0%という結果でした。自由記述では、特筆すべき意見はありませんでした。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	11	0	0	1
この項目では、「はい」と答えた方が全体の91.7%を占め、「どちらともいえない」が0%、「いいえ」が0%、「無回答＋非該当」は8.3%という結果でした。自由記述欄に寄せられた意見はありませんでした。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	8	1	0	3
この項目では、「はい」と答えた方が全体の66.7%を占め、「どちらともいえない」が8.3%、「いいえ」が0%、「無回答＋非該当」は25%という結果でした。自由記述では、特筆すべき意見はありませんでした。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	11	1	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の91.7%を占め、「どちらともいえない」が8.3%、「いいえ」が0%、「無回答＋非該当」は0%という結果でした。自由記述では、特筆すべき意見はありませんでした。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	11	0	0	1
この項目では、「はい」と答えた方が全体の91.7%を占め、「どちらともいえない」が0%、「いいえ」が0%、「無回答＋非該当」は8.3%という結果でした。自由記述欄に寄せられた意見はありませんでした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	11	1	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の91.7%を占め、「どちらともいえない」が8.3%、「いいえ」が0%、「無回答＋非該当」は0%という結果でした。自由記述欄に寄せられた意見はありませんでした。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	9	3	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の75%を占め、「どちらともいえない」が25%、「いいえ」が0%、「無回答＋非該当」は0%という結果でした。自由記述では、特筆すべき意見はありませんでした。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	10	0	2	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の83.3%を占め、「どちらともいえない」が0%、「いいえ」が16.7%、「無回答＋非該当」は0%という結果でした。自由記述欄に寄せられた意見はありませんでした。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目		
	カテゴリ1		
1	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリ1(1-1)		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
	カテゴリ1の講評		
	保育理念や目標について、会議や個別面談などを通じて職員・利用者に説明しています 園の保育理念を「子どもたち一人ひとりの個性・主体性・人権を尊重し大切にします。安全で安心して過ごせる環境を整え、大切な乳幼児期をのびのびと送れるようにします。保護者支援、就労支援に努めます。」、保育目標を「・なんでもよく食べ丈夫な子・優しく思いやりのある子・のびのび明るい素直な子・物事をよく考えて実行できる子」と定めています。園のビジョン・理念について、職員に対して、会議や個別面談で説明する機会を持っています。加えて、保護者に対して、重要事項説明書に記載するとともに、入園前個別面談で伝えています。		
	園長は園全体の環境整備にリーダーシップを発揮しています 園長は、保育環境の充実と職員が働きやすい環境を整えることを最も重要な役割と考えています。特に、壁紙の変更、ロッカーや看板の設置、給食室の窓の修理など、園全体の環境整備にリーダーシップを発揮しています。自身の役割や責任については、職員会議などの場を活用し、職員に伝えています。また、主任および事務担当をサポート役として配置し、組織的に園の運営を進めています。		
	園の重要な案件は職員会議で検討・共有し、保護者にはICTアプリで周知しています 園の重要な案件を検討する場として、職員会議を設けています。会議には全職員が参加しています。最近、園内で検討し職員に周知した重要案件として、「給食でのりんごの提供について」などがあります。また、保護者に対して周知したサービス変更などの事例として、「オムツのサブスクリプションサービスの導入について」などがあります。このような事例については、ICTアプリで周知を図るほか、必要に応じて個別に説明を行っています。		

2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 サブカテゴリ1 (2-1) 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6 評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 評価 標準項目 ●あり ○なし 1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している ○非該当 ●あり ○なし 2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している ○非該当 ●あり ○なし 3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している ○非該当 ●あり ○なし 4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している ○非該当 ●あり ○なし 5. 事業所の経営状況を把握・検討している ○非該当 ●あり ○なし 6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している ○非該当 ●あり ○なし 6/6		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 サブカテゴリ2 (2-2) 実践的な計画策定に取り組んでいる サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5 評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評価 標準項目 ●あり ○なし 1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している ○非該当 ●あり ○なし 2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している ○非該当 ●あり ○なし 3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている ○非該当 ●あり ○なし 5/5		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる 評価 標準項目 ●あり ○なし 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している ○非該当 ●あり ○なし 2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる ○非該当 ●あり ○なし 2/2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 カテゴリ2の講評 アンケートや面談を通じて職員や利用者のニーズを把握し、運営に反映しています 園では、個別面談・行事アンケート・第三者評価利用者調査などを通じて、利用者のニーズを把握しています。具体的な取り組みの一例として、「保護者参加行事において参加人数の制限を設けずに実施する」などが挙げられます。また、職員のニーズについても個別面談などを通じて把握し、直近では年齢ごとの玩具を新たに購入するとともに、水遊びの設備を充実させるなど、保育環境の向上に努めています。 「園児の定員割れ」や「保育の質の向上」を優先度が高い課題として捉えています 地域内にある保育園と区の所管課が参加する会議などを通じて、地域の福祉ニーズを把握しています。また、福祉事業全体の動向を把握するため、小規模保育園連合会などのネットワークに参加しています。以上のように事業環境を分析した結果、「園児の定員割れ」や「保育の質の向上」を優先度が高い課題として捉えています。 事業計画は園長を中心に作成し、年間を通じた定員の充足を重点目標として掲げています 中・長期の計画は、3年(中期)・10年(長期)を単位とした計画を立てています。この計画は園長を中心に作成し、「定員の充足」「職員の定着」を重点目標としています。また、単年度の計画は、前年度3月に作成し、年間を通じた定員の充足を重点目標としています。その内容について、年度初めの職員会議で園長から職員へ伝えています。上記の計画を推進するために、「ヒヤリハット各クラス月5件以上報告」などの目標を設定し、進捗状況を職員会議で職員へ伝えています。計画を見直す場合は会議で検討し、園長・主任が中心となって判断しています。		

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇●)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
○あり ●なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇●)		
評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリー3の講評

コンプライアンス遵守のため、入職時に就業規則を用いて説明する機会を設けています

法人職員または保育職員として守るべき法や規則について、就業規則を整備しています。関係書類は、事務所内キャビネットに保管するとともに、新人研修を通じて、職員の理解を深めています。加えて、職員会議で理解度を確認し、必要が認められた際は、園長による個別面談などにより支援しています。

職員が子どもに適切に関われるよう、不適切保育の防止をテーマに研修を行っています

苦情があった際には主任が受け付けし、園長が解決にあたっています。そのような体制や役割について、重要事項説明書で保護者に伝えられています。意見や要望については苦情対応マニュアルに沿って対応し、直接またはICTアプリなどで回答しています。職員の子どもに対する適切な関わり方について、「不適切保育を未然に防ぐ」をテーマに園内研修を実施し、理解を深めています。虐待が疑われる事例が生じた際には、虐待対応マニュアルに沿って、子ども家庭支援センターや児童相談所などと連携し対応しています。

地域の一員として小規模保育園連合会に参画し、共通課題に協働して取り組んでいます

地域に開かれた施設となるよう、全体的な計画を玄関に掲示するとともに、予算・決算報告や財務諸表をホームページにより、開示しています。ボランティアなどを受け入れる際は、園長・主任が対応する体制を整えています。また、地域の一員として、小規模保育園連合会に参画しています。本会議は1～2カ月に1度の頻度で開催しており、園長・事務担当が出席しています。直近の会議では、区の補助金が議題に上がり、園として、自園の取り巻く環境について分析を進めています。

4	カテゴリー4		
	リスクマネジメント		
	サブカテゴリー1(4-1)		
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
			5/5
	評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		
	評点(〇〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	
	○非該当		
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている		
○非該当			
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している		
○非該当			
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる		
○非該当			
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる		
○非該当			
サブカテゴリー2(4-2)			
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている			
評点(〇〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている		
○非該当			
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している		
○非該当			
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている		
○非該当			
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している		
○非該当			
カテゴリー4の講評			
園児の定員割れ対策として、ホームページやSNSを通じた情報発信を強化しています 運営に係るリスクとして、「園児の定員割れ」「園内の環境整備」「人員の確保」を挙げています。各リスクに対して「ホームページのリニューアル、SNSによる情報発信」「補助金の活用」「職員の処遇改善」などの対策を打ち出しています。園のホームページについては内容を見直し、新たに園の紹介動画や重要事項説明書を掲載しました。さらに、外国籍の利用希望者にも対応できるよう、英語表記を追加しました。また、写真共有アプリを活用した情報発信を強化し、園の様子をより身近に感じられるよう工夫しています。 地震・風水害・感染症などを想定した事業継続計画を作成しています 災害や深刻な事故などに遭遇した場合に備え、大規模地震・風水害・新型インフルエンザなどを想定した事業継続計画(BCP)を作成しています。復旧期間を2週間程度と定め、3日分の防災備蓄品を備えています。危機管理の方法やBCPの内容について、職員会議で職員に伝え、玄関掲示により利用者に伝えています。事故・感染症・侵入・災害などが発生した際は、事故・怪我・ヒヤリハット報告書などに記録しています。その上で発生要因をヒヤリ会議(毎月)で分析するとともに、再発防止策をICTアプリの一斉配信により利用者に報告しています。 機密性の高い文書や電子データにはアクセス制限を設け、適切な情報管理に努めています 情報の収集・利用・保管・廃棄については、個人情報保護規定で定めています。その内容については、新人研修を通じて職員に伝えています。また、誓約書を取り交わして情報管理や文書管理の遵守を求めています。個人情報や機密性の高い情報を含む文書は、事務所内キャビネットに保管し、閲覧する際には、園外持ち出し禁止などの条件を設けています。電子データには、職員ごとにIDとパスワードを設定するなどのアクセス制限を設けています。そのほか、機密文書を破棄する際は、専門業者に委託し、溶解処理を行っています。			

5			カテゴリー5	
職員と組織の能力向上				
サブカテゴリー1(5-1)				
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 12/12	
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している			○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる			○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている			○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している			○非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる			評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している			○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している			○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している			○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている			○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる			評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている			○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる			○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる			○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている			○非該当
サブカテゴリー2(5-2)				
組織力の向上に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 3/3	
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる			評点(〇〇〇)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している			○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている			○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる			○非該当

カテゴリー5の講評

ホームページやSNSを通じた採用活動を強化しています

職員の採用に際して、「保育観」「人柄」などを重視しながら、園のホームページやSNSを通じた採用活動を行うなど、求職者の応募を促しています。職員の育成や将来の人材構成を見据え、就業規則に異動や配置に関する指針を明示するとともに、次年度意向調査や個別面談などで職員の意向を把握しています。キャリアパスシートは4階層で設定しており、入職時や個別面談で職員に伝えています。

職員の気づきや工夫を活かし、手作り玩具や保育環境の充実に取り組んでいます

全職員を対象とした研修計画を事業計画書に明示し、計画的に研修を実施しています。園内では、不適切保育や誤飲をテーマにした研修を行うほか、キャリアアップ研修や自治体主催の研修を積極的に活用しています。また、職員一人ひとりの気づきや工夫を活かすため、研修や会議の場で発言の機会を設け、積極的な意見交換を促しています。こうした取り組みの結果、子どもの成長に合わせた玩具の入れ替えを行うとともに、ビジーボードやスケッチブックシアターなどの手作り玩具を増やすことで、子どもたちが遊び込めるように環境を整えています。

福利厚生として借上住宅や退職金制度のほか、福利厚生施設の宿泊補助を導入しています

職員の育成と評価については、自己評価シートを活用しながら個別面談を実施し、一人ひとりの成長や課題をいねいに確認しています。福利厚生として、借り上げ住宅制度の利用や退職金制度・福利厚生施設の宿泊補助などを導入し、職員が安心して働ける環境を整えています。また、有給休暇の取得率向上を目的として、休み希望を自由に記入できるカレンダーを活用し、休暇を取得しやすい仕組みを整えています。さらに、職員の声を積極的に取り入れるとともに、保育実践の成果を互いに褒め合うことで、働きがいや意欲の向上につなげています。

7		カテゴリー7	
事業所の重要課題に対する組織的な活動			
サブカテゴリー1(7-1)			
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている			
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)			
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)			
前年度において、「園児の定員割れ」を重要課題の一つとして掲げていました。この課題に対応するため、「広報活動の強化」を目標とし、SNSの活用を推進しました。具体的な取り組みとして、パソコンやスマートフォンなどの必要機器を新たに購入するとともに、1日1回動画をSNSにアップするようにしました。また、動画を編集する際には、カバー画像に統一性を持たせ、本園であることがすぐにわかるように工夫しました。こうした取り組みの結果、園見学者の増加につながり、さらに求職者からの問い合わせも増えるなどの付随的な成果も得られました。園では目標をおおむね達成したと自己評価しています。今年度はさらに成果を高めるため、ホームページのリニューアルや内容の充実を進めています。さらには、新たに動画共有アプリに専用チャンネルを開設することも検討しています。			
目標の設定と取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった		
取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である		
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である		
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評			
園児の定員割れを重要課題として、広報の強化に取り組んでいます。ホームページに加えて、SNSを通じて、園の取り組みや様子を紹介しています。パソコンやスマートフォンを用意し、職員が撮影、編集ができるように環境を整えました。また、閲覧者の目に止まりやすいように、カバー画像に統一性を持たせるなど工夫しています。2025年2月時点では、フォロワーが180人を超えており、その成果が現れています。今後活用を検討している動画共有アプリについても、その成果が期待されます。			

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度において、「園内の環境整備」を重要課題の一つとして掲げ、その対策として「安全対策の強化」を目標に取り組みました。具体的には、園の玄関付近(階段の下)に飛び出し防止策として新たに門扉を設置し、安全性を向上させました。また、熱中症対策やプライバシー保護の観点から、ベランダにシェードを設置し、園児がより快適に過ごせる環境を整えました。なお、導入の際には自治体の補助金を活用し、財政的な負担を軽減する工夫も行いました。こうした取り組みを通じて、園の安全性が向上し、おおむね目標を達成できたと自己評価しています。今後も日常の安全管理に努めるとともに、必要に応じてさらなる対策を講じていきたいと考えています。

目標の設定と取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園内の環境整備を重要な課題と捉え、安全対策の強化に取り組んでいます。園の玄関付近には門扉が設置されていますが、その先の階段を降りるとすぐに歩道があるため、さらなる安全性の向上が求められていました。また、園がビルの2階に位置していることから、同じ高さに歩道橋などがあり、外部からの視線を考慮したプライバシー保護の対策も必要でした。こうした背景を踏まえ、園では門扉やシェードを設置しました。このように、安全性とプライバシーの両面から対策を進めたことにより、園全体の環境が向上したことが評価されます。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当	
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当	
サブカテゴリー1の講評			
パンフレットやホームページに加えて、SNSを通じて保育の様子を紹介しています 園の情報を提供する媒体として、入園のしおり・パンフレットを発行しています。しおりやパンフレットには「保育理念・方針・わたしたちの想い・一日の流れ・年間行事・食育」などの内容を紹介しています。また、ホームページにも同様の内容に加え、写真共有アプリを通じて保育の様子を紹介しています。特に、写真共有アプリは、1日1回の頻度で更新しています。さらに、日本語が得意でない保護者に向けても、ホームページの英語版やルビ入り資料を用意するほか、見学の際には翻訳アプリを活用するなどていねいな対応を心がけています。 見学は随時受け付け、園内を見てもらいながら園の特徴を分かりやすく説明しています 園の情報は、行政や関係機関などにも提供しています。区のホームページには開園時間や延長時間などの情報が掲載されています。また、嘱託医のクリニックはパンフレットを置かせてもらっています。利用希望者の見学は園長または主任が担当しています。予約は、随時受け付けていますが、午前10時頃もしくは午後3時を選んでもらい、3組を目安に対応しています。見学の際は、園の特徴として、ていねいな保育を行っていること、散歩や運動遊びを通じて体幹を鍛え、健康な身体づくりにつなげていることなどを分かりやすく説明しています。			

サブカテゴリー2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点(〇〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点(〇〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリー2の講評			
入園説明は、入園前面談と兼ねて3月上旬に個別開催しています 入園決定者には、入園のしおり・児童票・緊急連絡カード・食材摂取表・年間行事予定などの資料を、入園前面談の前に手渡しで配布します。入園の説明は、入園前面談と兼ねて3月上旬に個別開催し、保育内容を分かりやすく伝えています。サービス内容については重要事項説明書、プライバシー保護については写真掲載承諾書で同意を得ています。また、サービス内容に対する保護者の意向は、入園前面談で把握し、個別面談記録に記載しています。 子どもの不安やストレス軽減のため、6日間を目安に慣れ保育を実施しています サービス開始にあたり、アレルギーや既往歴など健康状態を児童調査書で把握するとともに、出生時から入園前までの生活状況の記録提出をお願いしています。その上で、子どもの不安やストレス軽減のため、6日間を目安に慣れ保育を実施しています。期間中は連絡帳に加えて、日中の様子を迎えの際にいいねに伝えることで、保護者の保育への理解と安心につなげています。子どもに対しては、使い慣れたタオルなどの持ち込みも受け入れています。			

サブカテゴリ-3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 13/13
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄り話し合う機会を設けている	○非該当
サブカテゴリ-3の講評		
子どもの記録はICTアプリを活用しながら記録しています 子どもの心身状況や生活状況などを把握するため、1・2歳児クラスでは保育日誌に一人ひとりの記録欄を設けるとともに、連絡帳を毎日取り交わしています。加えて、身体測定記録や発達記録表も作成しています。なお、これらの記録はICTアプリで管理しています。子どもの個別の保育目標は個人計画表に、家庭や保護者の個別のニーズや支援方針は面談記録に記録します。児童票においては、年単位で集約・記録しています。		
「全体的な計画」に基づき、年・月・週を単位とした指導計画を作成しています。 「全体的な計画」は年度末に見直しをし、必要に応じて更新しています。今年度は、連携園の2歳児との交流を新たに取り入れ、保育の充実を図りました。また、「全体的な計画」に基づき、年・月・週を単位として指導計画を作成しています。指導計画の内容は、職員会議で随時見直しするとともに、保育目標の達成状況や指導計画の推進状況は、クラス会議・リーダー会議・職員会議で評価しています。保護者に対しては、「全体的な計画」を玄関に掲示し、指導計画を個別面談で分かりやすく説明しています。		
職員会議や連絡ノートを活用し、職員全体で子どもに関する情報を共有しています 職員間で子どもに関する情報を共有するために、月1回、園長・主任・常勤保育士が参加して職員会議を行っています。加えて、クラス会議・ヒヤリ会議・給食会議などの定例会議を行っています。そのほか、毎日10分程度のミーティングを行っています。日々の子どもの状況については連絡ノートを活用するとともに、必要に応じて臨時職員会議で情報共有しています。子ども一人ひとりへの理解を深めるため、ケース会議で遊びの場面で落ち着かない子どもへの環境設定や遊びの提供の仕方などをテーマに、事例を持ち寄り話し合う機会を設けています。		

サブカテゴリー5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリー5の講評			
子どもの羞恥心への配慮として、環境を整えるとともに着替えの指導を行っています 入園前の個別面談で個人情報について説明し、写真掲載承諾書でプライバシー保護の同意を得ています。突発的に情報提供を要する際は、電話などで同意確認を得ています。子どもの羞恥心に配慮し、着替えの際はカーテンを閉めて外から見えない環境を整えるとともに、着脱時に全裸にならないよう、着脱の仕方について伝えています。そのほか、トイレにもパーテーションを設置し、他児が見えないように環境を整えています。 各家庭の状況に応じて、生活や食習慣に配慮した対応を行っています 子どもを尊重する姿勢を大切に、ユニセフの「子どもの権利条約」を通じて理解を深めるとともに、「乳幼児の主体的活動」をテーマに園内研修を実施しています。また、価値観や生活習慣に配慮するため、行事アンケートや個別面談を通じて、日常的なサービスに関する保護者の意向を確認しています。その一環として、保護者の体調不良など仕事以外の理由による保育の受け入れを行い、食べ慣れない食材については量を調整するなど、配慮しています。さらに、宗教的な食事制限にも対応し、個々のニーズに寄り添う保育を心がけています。 虐待防止に向けてセルフチェックシートを活用し、職員自ら振り返る機会を持っています 虐待や育児困難などの事案については、虐待防止対応マニュアルに則って対応しています。虐待防止と適切な対応に備え、職員は事例を用いた園内研修を行うとともに、自治体や専門機関が主催する虐待防止研修に今年度は1名が参加しています。また、「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を用いて、職員自らの行動を振り返ることを促しています。さらに、虐待に関するニュースなどが報道された際は、ネットニュースなどを共有し、意識向上を図っています。			

サブカテゴリー6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリー6の講評		
業務の標準化を図るため、法人のマニュアルや園独自のマニュアルを整備しています 業務の標準化を図るため、法人として「安全保育・苦情解決・保健衛生・個人情報保護・事故防止・食物アレルギー対応・虐待防止対応マニュアル」などを整備しています。園では独自に、散歩ノートの記入方法に関するマニュアルなどを作成しています。業務の実施状況は、主任が中心となって随時確認しています。さらに、職員に「安全保育マニュアル」を配布し、園内研修や期の変り目の職員会議で周知することで、マニュアルに対する理解を深めています。 マニュアルは、事前に定めた時期に従って見直しを行うようにしています 業務水準向上のため、安全計画やBCPなどは年1回、事前に定めた見直しの時期に合わせて確認を行っています。また、職員の声を受けてサービスを見直した例として、「散歩ノートの記入方法」があり、園への報告・連絡を行うタイミングについて、内容を変更しました。		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	35 / 35
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(〇〇〇〇〇)・非該当1	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
○あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		●非該当
評価項目1の講評			
ワンフロアの室内に、絵本・ままごと・机上遊びなどのコーナーを設けています 最寄り駅から徒歩1分という便利な立地にあり、ワンフロアに1歳児室と2歳児室があります。窓が多く、日当たりが良いことが特徴で、明るく開放的な環境の中で保育を行っています。室内には、絵本・ままごと・机上遊びなどのコーナーを設け、子どもたちが自由に行き来できるようにしています。また、子どもが自ら遊びたい玩具を選べるように、目線の高さに合わせた玩具棚を設置し、収納ケースには写真を貼ることで、片付けができるようにしています。 国内の文化に親しむことができるように、給食にご当地メニューを取り入れています 「互いの年齢の違いを意識しない良い関係を作り、思いやりの気持ちを育むこと」を目的に、異年齢と一緒に散歩に出かけたり、朝・夕の合同保育のときに一緒に過ごしたりしています。散歩に行く際には、歩幅が合う子どもや、気の合う子どもと一緒に手をつなげるようにするなど工夫しています。また、国内外の文化に親しむことができるように、海外の絵本や、給食にご当地メニューを取り入れています。 配慮が必要な子どもを受け入れる際は、専門機関と連携して適切な支援を心がけています 配慮が必要な子どもを受け入れる際には職員を加配するとともに、パーソナルスペースを確保するなど環境を整えています。また、子ども家庭支援センターや児童相談所などと連携するほか、理学療法士などの助言を受けながら適切な支援を心がけています。子ども同士のけんかやトラブルが生じた際は、そばで見守ることを基本方針としています。かみつきについては、職員の立ち位置を工夫し、職員同士で声をかけ合うなどして、予防に努めています。			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当
評価項目2の講評			
ICTアプリの連絡帳機能を活用しながら保護者と子どもの様子を共有しています 登園時には、体温や体調などを保護者に確認し、必要な情報を保育日誌などに記録して職員間で引き継いでいます。連絡帳は毎日交換し、食事量・午睡時間・排便回数・検温・活動の様子などを記載するとともに、子どもの様子が具体的に伝わるようになっています。降園時には、日中の様子や健康状態を対面で報告し、ポジティブな内容で話を終わらせるよう心がけています。そのほか、写真共有アプリ・玄関での写真掲示・ICTアプリ内の写真アルバムなども活用して伝えています。 発達段階に応じた支援方法を示し、食事や排泄、着替えなど、丁寧な援助を行っています 子どもの発達段階に応じた支援方法を発達記録や個人計画表に示しています。食事では、手洗いなど食前のマナーを教え、正しい食具の持ち方を実際に示しながら、一緒に行っています。排泄に関しては、1歳後半を目安として家庭での状況など個々のペースを確認しながら、便座に座る練習をはじめています。園での歯磨きは行っていますが、年2回の歯科検診にあわせて歯磨き指導を行っています。そのほか、着替え指導では、上下一緒に脱がない着脱の仕方や衣服の前後について教えています。 午睡中に眠れない場合はマットの上で静かに過ごしたり、読み聞かせをしたりしています 12時から14時30分まで午睡時間を設け、寝具はマット・おねしょシーツ・上掛け布団などを使用しています。午睡中に眠れない子がいる場合は、保育室でマットの上で静かに過ごしたり、絵本の読み聞かせを行ったりしています。			
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している			評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている		○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている		○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付く、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している		○非該当
評価項目3の講評			
主体的に活動できるよう、「絵本・ままごと・机上遊び」などのコーナーを設けています 子どもが主体的に活動できるよう、「絵本・ままごと・机上遊び」などのコーナーを設けています。その中で、一人で遊びたい子にはスペースを用意するようにしています。集団活動として、リズム体操、リトミックに加え、朝の会や夕方の遊びの前などに遊びたいことを話し合う機会を設けています。そのほか、子どもが自分の気持ちを調整できる力を身に付けることができるよう、遊び始める際には、絵本を使って説明するなど工夫しています。 リトミック・体操・歌・制作などの活動を通じて、さまざまな表現力を育んでいます 子どもが言葉に興味を持てるよう、絵本の読み聞かせを行うとともに、職員は否定的な言葉や「ら抜き言葉」に注意し、ていねいな言葉かけを心がけています。身体を使った表現力を育む機会として、リトミックやリズム体操を取り入れています。また、音楽を通じて表現を育む機会として、朝や帰りの会で、円になってみんなの顔を見ながら歌ったり、季節の行事で踊りや歌を披露したりしています。そのほか、毎月の製作や季節の行事に合わせた製作も実施しています。 散歩に出かけた際には公園や商店街などを訪れ、自然探索や砂遊びを楽しんでいます 週3回程度散歩に出かけ、近隣の公園や商店街、消防署などを訪れています。公園や散歩中には、探索活動・かけっこ・砂遊びなどをして過ごしています。そして、散歩中にどんぐり・桜・銀杏・猫などの植物や生き物に出会う体験もしています。また、園のバルコニーではプールを出して水遊びをしたり、きのこやさつまいもの栽培をしたり、戸外活動を楽しんでいます。			

4

評価項目4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評価

標準項目

●あり

○なし

1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している

○非該当

●あり

○なし

2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している

○非該当

●あり

○なし

3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている

○非該当

評価項目4の講評

夏祭りでは屋台遊びやうちわの製作を行うなど、親子で一緒に楽しむ機会を設けています

子どもの成長や保育の成果を発表する場として「夏祭り」を、季節や文化・伝承に親しむ機会として、「子どもの日・七夕・十五夜・ハロウィン・クリスマス・正月遊び・節分・ひな祭り」などを行っています。特に夏祭りは、子どもたちの「お祭りがしたい」というリクエストを受けて開催に至りました。当日は、屋台遊びとして金魚すくいやくじ引きなどを用意し、うちわ製作のコーナーも設け、親子で一緒に楽しむ機会を作りました。給食では、子どもたちの大好きなメニューを取り入れ、行事に合わせた金魚ゼリーを提供するなど、特別感を演出しました。

ICTアプリや写真共有アプリを通じて活動の様子を保護者と共有しています

行事の準備・実施にあたり、保護者の理解と協力を得るため、年間行事予定表を3月に配布しています。また、各行事の目的を行事のお知らせや園だよりで伝えています。保護者が参加できる行事として夏祭りと保育参加を開催するほか、参加できない行事についてもICTアプリのアルバムや写真共有アプリで様子をお知らせしています。そのほか、夏祭りの前には、入園・進級してからの子どもの成長を写真で振り返る懇談会を行っています。なお、夏祭りの後にはアンケートを実施し、保護者の声に耳を傾けています。

誕生日は園全体でお祝いし、誕生日カードのプレゼントや特別食の提供を行っています

子どもの誕生日は、園全体でお祝いし、個別インタビュー・歌・職員からの出し物（パネルシアターなど）のプログラムで楽しめるようにしています。また、写真・手形・メッセージを添えた誕生日カードをプレゼントするとともに、誕生児の好きなメニューを取り入れた給食を用意しています。さらに、誕生児が主役として喜びを感じられるよう、朝の会で誕生日であることをみんなに伝え、王冠を被ってもらっています。

5

評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評価

標準項目

●あり

○なし

1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている

○非該当

●あり

○なし

2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている

○非該当

評価項目5の講評

子どもの状況に合わせて、一人で遊ぶスペースや休憩スペースを設けています

子どもが安心してくつろげるよう、水色や白など落ち着いた色調の壁紙を使用するとともに、主活動を行う室内では、子どもの気が散らないように壁面には何も掲示しないようにするなど、環境づくりに配慮しています。また、子どもの様子や状況に合わせて、室内をパーティションで区切り、一人で遊ぶ空間を設けたり、マットやソフト積み木を使って休憩スペースを設けたりしています。

延長保育中はスキンシップを多く取るなど、落ち着いて過ごせるよう配慮しています

18時31分から19時30分までを延長保育時間として設定しています。それに合わせて、16時15分から合同保育を実施しています。合同保育では、普段の活動では使用していない音の出る絵本や玩具、ボールなどを用意しています。補食は夕食に影響が出ないよう、内容や量を考慮して提供しています。延長保育の時間帯は、基本的に常勤職員が保育に入るよう体制を整え、スキンシップを多くとるなど、ゆったりとした雰囲気の中で過ごせるよう配慮しています。

6

評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	○非該当

評価項目6の講評

子どもの様子に合わせ、声かけや配置を工夫し、食べる意欲を引き出しています

食事する際は、お互いに顔が見えるように椅子やテーブルを配置するなど工夫しています。職員は子どものそばに寄り添いながら、「おいしいね」「上手に食べているね」などと声をかけたり、苦手なものでも少しずつ食べられた時には褒めるなど、子どもの食べる意欲を促せるようなかわりを大切にしています。

旬の食材を使用し、好みに合わせた献立に調整しながら食事を楽しめる工夫をしています

献立はサイクルメニューとなっており、旬の食材を取り入れることを心がけています。行事の際には見た目を工夫し、雰囲気を盛り上げます。ハロウィンの際には、お化けをかたどったナンをカレーとともに提供しました。食物アレルギーのある子どもについては、アレルギー対応マニュアルに沿って代替・除去食を提供しています。環境面では個別のテーブルを用意し、柄違いの食器・アレルギー食材を記したトレイを使用するとともに、提供する際にはダブルチェックを行うなど誤食の防止に取り組んでいます。

さつまいもの栽培や野菜の皮むきなどを通じて、食に関する興味・関心を高めています

食育活動では、「子どもの発達段階や興味・関心に応じた内容を考え、家庭でも簡単に実践できること」を心がけています。具体的には、絵本の読み聞かせや朝の会での献立発表などを通して、食文化や栄養に関する知識と関心を深めています。また、園内でさつまいもを栽培し、収穫したものを野菜チップスにして提供しています。調理体験は、1歳児ではきのこと割り・栗の皮むきなどを体験しています。

7

評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

防災・不審者訓練や交通安全指導などを通じて安全に関心が持てるようにしています

子どもが自身の健康や安全に関心を持てるよう、健康指導では、絵本を用いて手洗いや歯磨き、鼻水の拭き方を伝えています。また、地震・火災・津波を想定した防災訓練を毎月実施しています。そのほか、職員による不審者対応訓練や、散歩時に交通ルールについて声かけを行うなど交通安全指導も行っています。さらに、子ども自身の安全意識を高めるため、戸外活動する際には危険箇所や遊び方について確認し、事故や怪我の防止につなげています。

健康状態を把握するため、健康診断と歯科検診のほか、毎月身体測定を行っています

子どもの健康状態を把握するため、嘱託医による健康診断(年2回)や歯科検診(年2回)のほか、身体測定を毎月実施しています。与薬は基本的に行っていませんが、熱性けいれんや食物アレルギーがある場合は、与薬依頼書の提出と共に薬を預っています。医療的ケアを必要とする子どもについては、かかりつけ医や嘱託医、保護者と連携を取りながら受け入れる体制を整えています。

保健だよりやもぐもぐ通信を毎月発行し、保護者へ保健情報などを提供しています

保護者と連携して、子どもの健康維持に取り組むために、保健だよりを毎月発行しています。加えて、栄養士による人気メニューやレシピを掲載した「もぐもぐ通信」も毎月発行しています。また、感染症流行やSIDS予防のため、職員は嘔吐処理研修や救命救急講習に参加し理解を深めています。感染症発生時は、ICTアプリで保護者に情報提供を行っています。SIDS対策としては、視診・午睡チェックを行い、午睡チェック表に記録しています。これらの取り組みについては、入園前個別面談で園長が説明しています。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている			評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている		○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している		○非該当
評価項目8の講評			
個別面談・行事アンケートなどにより、保護者の意向を把握しています 保護者に対し、「保護者の皆様と日々コミュニケーションをとり、しっかりとした信頼関係を築き、お子様の成長を共に喜び、時に一緒に悩みながら保護者支援、就労支援に努めます」を理念として対応しています。保護者の子育てや就労状況に配慮した支援を行うため、個別面談や日々のコミュニケーションを通して、子育てに関する価値観や就労状況を把握しています。さらに、行事アンケートなどにより、日常的なサービスに対する保護者の意向を確認しています。直近では、保護者の希望に応じて、保育参加を随時受け付けする形に変更しました。 送迎時は可能な限り担任が対応し、保護者と直接対話をするように心がけています 保護者と職員の信頼関係を深めるための取り組みとして、保育参加を年1回(9月)、個別面談を年2回(6・2月)、保護者会を年1回(9月)に実施しています。特に、保育参加はより多くの保護者が参加できるよう、まとまった期間を提示するなど工夫しています。さらに、来年度より保育参観を年2回(4月・9月以降)実施する予定です。そのほか、送迎時は可能な限り担任が対応し、保護者とコミュニケーションを取るように努めています。また、職員一人ひとりをより良く知ってもらうために、玄関に職員紹介を掲示しています。 個別面談の際には、食事や生活リズムをテーマに意見交換する機会を設けています 子育ての考え方について互いの理解を深めるために、懇談会や個別面談を行っています。個別面談では、「食事」「生活リズム」などをテーマに意見を交換しています。また、保護者の養育力向上に向けて、来年度から「親子でできるクッキング」を開催する予定です。さらに、誕生日会に保護者を招待することも検討しています。			
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている			評点(〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		○非該当
評価項目9の講評			
消防署をはじめ、周辺にある図書館や連携園などを訪れ、交流を図っています 散歩に出かけた際には、消防署に立ち寄って、消防車の試乗やヘルメットの着用などを体験させてもらっています。また、商店街の中にある花屋では、季節の花を購入することもあります。さらに、図書館で実施している絵本読み聞かせにも参加しているほか、連携園の園児と交流する機会を持っています。今後の取り組みとして、町会主催の防災訓練や児童館が開催する乳幼児向け行事への参加も検討中です。			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-1-1	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している
タイトル①	写真共有アプリでは毎日更新し、統一性を持たせることでPRを強化しています	
内容①	園の情報を提供する媒体として、入園のしおりやパンフレットを発行しています。これらには「保育理念・方針・わたしたちの想い・一日の流れ・年間行事・食育」などを掲載し、園の特色を分かりやすく伝えています。また、ホームページにも同様の内容を掲載するだけでなく、写真共有アプリを活用して保育の様子を発信しています。特に、写真共有アプリは1日1回の頻度で更新し、閲覧者の目に留まりやすいように、カバー画像に写真とタイトル・園名を入れて統一感を持たせる工夫をしています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	おむつのサブスクリプションサービスを行うなど、保護者の負担軽減につなげています	
内容②	保護者の子育てや就労状況に配慮した支援を行うため、個別面談や日々のコミュニケーションを通して、子育てに関する価値観や就労状況を把握しています。さらに、行事アンケートなどにより、日常的なサービスに対する保護者の意向を確認しています。直近では、保護者の希望に応じて、保育参加を随時受け付けする形に変更しました。また、今年度の5月より「手ぶら登園」と題して、オムツ・おしりふき・エプロン・手口拭きのサブスクリプションサービスを開始し、保護者の負担軽減につなげています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる
タイトル③	職員の声を丁寧に拾い上げるとともに、互いを認め、称賛し合うことを大切にしています	
内容③	開園当初から勤務している職員や長く在籍している職員が多く、引き続き働きやすい環境の構築に向けて取り組んでいます。職員会議や日頃のコミュニケーションを通じて職員の声をていねいに拾い上げるとともに、保育実践の成果を互いに認め、称賛し合う文化を大切にしています。また、有給休暇の取得促進にも力を入れており、希望を自由に記入できるカレンダーを活用することで、職員が取得しやすい仕組みを整えています。その結果、取得率は100%に近い水準となっており、職員が安心して働き続けられる環境づくりにつながっています。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもたちの要望を受けて開催した夏祭りでは、親子で楽しむとともに、子どもの成長を保護者と共有する場を提供した点が評価されます
	内容	子どもたちの「お祭りをしたい」という要望を受けて、夏祭りを開催しました。当日は金魚すくいやうちわ製作、フォトスポットのコーナーなどを設け、親子で一緒に楽しめる工夫を凝らしています。また、給食には子どもたちの好きなメニューを取り入れ、栄養士考案の金魚ゼリーを提供するなど、特別感を演出しました。さらに、懇談会を同時開催し、写真を交えながら子どもたちの成長を紹介する機会を設けました。このように、子どもたちの要望を反映させるとともに、園の取り組みや子どもたちの成長を保護者と共有する場を提供した点が評価されます。
2	タイトル	消防署の見学や連携園との交流、野菜の栽培などを取り入れ、園生活に変化と潤いを持たせています
	内容	週3回程度散歩に出かけ、近隣の公園に行った際には探索活動・かけっこ・砂遊びなどを楽しんでいます。消防署に立ち寄った際には、消防車の試乗やヘルメットの着用などを体験させてもらったり、商店街で花を購入したりしています。また、夏場には、バルコニーにシェードを設置し、水遊びをして楽しんでいます。さらに、散歩中にはどんぐり・桜・銀杏・猫などの植物や生き物に出会う体験や園内でのこやサツマイモを栽培するなど、四季折々に咲く草花や生き物にふれ、季節の移り変わりを体感しています。
3	タイトル	子どもの成長に合わせた玩具の入れ替えを行うとともに、手作り玩具を増やすなど、子どもたちが遊び込めるよう支援しています
	内容	最寄り駅から徒歩1分という便利な立地にあり、ワンフロアに1歳児室と2歳児室があります。室内には、絵本・ままごと・机上遊びなどのコーナーを設け、子どもたちが自由に行き来できるようにしています。また、子どもが自ら遊びたい玩具を選べるように、目線の高さに合わせた玩具棚を設置し、収納ケースには写真を貼ることで、片付けができるようにしています。さらに、子どもの成長に合わせた玩具の入れ替えを行うとともに、ビジーボードやスケッチブックシアターなどの手作り玩具を増やすなど、子どもたちが遊び込めるよう支援しています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	クッキング教室などの保護者参加行事を増やすことで、家庭と園が連携しながら子どもを育てる意識をより一層高めようとしています
	内容	子どもの成長した姿や園の取り組みについて、ICTアプリや写真共有アプリを通じて伝えています。また、園だよりや給食レシピを紹介した「もぐもぐだより」を発行しています。ただし、感染症の影響もあり、保護者と交流する機会は制限されている状況でした。園はこれを課題として捉えており、個別面談や保護者会に加えて、今年度は新たに保育参加を実施しました。今後は、親子で参加できるクッキング教室などを新たに企画し、家庭と園が連携しながら子どもを育てる意識をより一層高めようとしています。
2	タイトル	パネルシアターや絵本の貸し出しなど、園の活動をより身近に感じてもらう機会を提供していきたいと考えています
	内容	今年度はホームページのリニューアルを行い、園の紹介動画を新たに掲載するなど内容を充実させました。また、SNSを活用し、園の取り組みを1日1回を発信しています。一方で、利用希望者の見学は随時受けているものの、地域の未就園児を対象とした子育て支援には取り組めていない状況でした。今後は、保育体験の機会を設け、パネルシアターの実施や絵本の貸し出しを検討しています。これにより、地域の子育て家庭とのつながりを深めるとともに、園の活動をより身近に感じてもらう機会を提供していきたいと考えています。
3	タイトル	キャリアパスに対する説明の機会を持つことで職員が自身の成長をイメージし、やりがいを持って働ける環境を整えていくことが期待されます
	内容	キャリアパスシートは4階層で設定しており、入職時や個別面談で職員に伝えています。ただし、キャリアパスに基づいた人材育成の方針や方法はテキスト化できていない状況です。そして、職員自己評価「キャリアパスおよび人材育成計画の策定」の各設問では「そう思う」の回答率が一般職員では40%に留まっており、キャリアパスに対する理解を浸透させる必要があることが窺えます。今後は、キャリアパスに対する説明の機会を持つことで、職員が自身の成長をより具体的にイメージし、やりがいを持って働ける環境を整えていくことが期待されます。